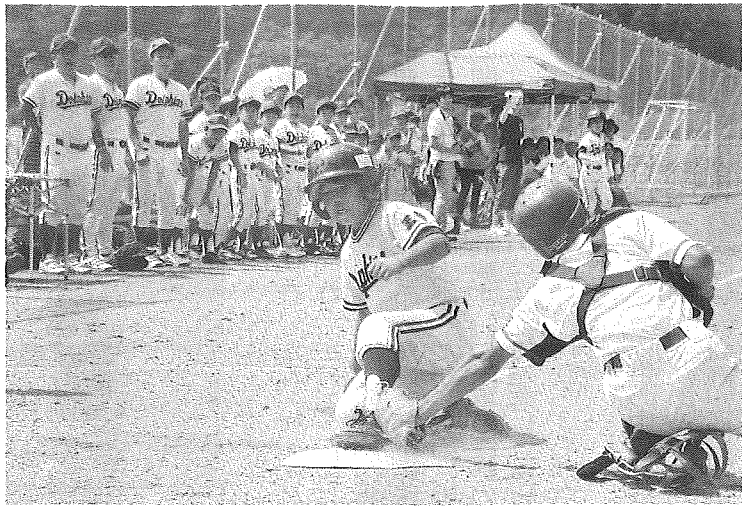


試合通じ絆強める

横田野球 スポ少 王子ドルフィンズ(東京)と交流

陸前高田

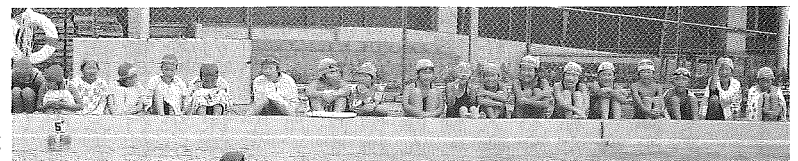
陸前高田市横田町の横田小・中仮設グラウンドで24日、同町の横田野球スポ少と東京都北区の学童野球チーム・王子ドルフィンズとの交流試合が行われた。同日は多くの地元住民も駆けつけて子どもたちを応援。子ども



たちは試合を通して、野球が結んだ絆をより強いものとした。同スポ少は一昨年8月、「北区明るい社会づくりの会」(峰田将会長)と同区役所、同区体協などの支援によって王子ドルフィンズの団員、保護者ら総勢約60人が陸前高田市を訪問して横田スポ少の団員らと交流した。

贈呈された。続いて、王子ドルフィンズの及川佑斗主将と横田野球スポ少の菅野拓未主将が高らかに選手宣誓し、試合開始となった。

両チームの選手らは互いの成長ぶりをたたえていた。一昨年の交流試合にも出場したという王子ドルフィンズの及川主将は「お互い、いい雰囲気でした。一昨年試合があった。一昨年試合をした横田スポ少のOBも来ていて、久々に元気そうな顔が見られてうれしかった。これからも、苦しいことが続いても、苦しいけれど、横田のみんななら乗り越えられると思うので頑張ってください」とエールを送った。



開会式では、同スポ少育成会の金野正孝会長が歓迎の言葉を述べ、来賓の戸羽太市長、峰田会長もそれぞれあいさつ。

試合では王子ドルフィンズが勝利したが、一打に気合いを込めて全力プレーを繰り返していた。

試合後は川で遊んだり、バーベキューをするなどして全員で夏を満喫しながら友情を深めていた。

自己ベストへ挑戦

有住小で水泳記録会

住 田

住田町立有住小学校(佐々木英雄校長)の4～6年生52人を対象にした「水泳記録会」は26日、同校プールで行われた。児童らは自由形や平泳ぎなどの各種目に出場し、今夏の練習成果を発揮しながら自己ベスト記録に挑戦した。

同町では以前、町内小学校水泳通信記録会として各校の記録を取

剣道の教え方知る

武道安全指導講習会

陸前高田

陸前高田市教育委員会は25日、平成26年度武道安全指導講習会を市立第一中学校武道場で開いた。同市剣道協会の新沼薫会長(89)と黄川田勇一副会長(65)を講師に、市内の体育教員6人が剣道の指導方法などを学ん

んじ誠を尽くすもの」などと解説。競技において最も大切なのは礼儀と相手を敬う心であり、技術を向上させるより先に教えるべき」とだと伝えた。

座り方、立ち方、歩き方といった作法からみっちり学習。面もつけてのけいこでは黄川田副会長が中心となって指導にあたった。参加者は、新沼会長の「剣と体と気が一致して初めて攻撃になる」という言葉に従い、氣勢を上げながら実技に臨んだ。

黄川田副会長は「火曜と土曜は小友小学校で、水曜と金曜は大船渡市民体育館で夜7時から練習を行っている。誰でも参加できるので、そちらにもぜひ来てほしい」と話していた。

支援

金

